

《履修上の留意事項》1. 本講義は土曜日に講義を実施する。

《担当者名》○大原 裕介(客員) ohara@yu-yu.or.jp 荻原 唯(客員) 向谷地 生良

【概要】

本科目は、地域社会で生きる多様で複雑な課題を抱えた全国でも著名な当事者や実践者をお招きし、リアルに触れる講話やディスカッションを実施する。相手や自分の価値観に出会い、「誰のために、何のために」これから学び、専門職として働いていくかを考える機会とする。

【学修目標】

1. 専門職としてベースとなる正義や価値観について学びを深める。
2. 新たな価値観と出会い、個人の価値観を更新する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 3	オリエンテーション/ 子どもたちの多様な生き方	外部ゲストとして、子どもの貧困の支援者の方々をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	湯浅誠(特別講師) 二本松一将(特別講師) 大原、荻原
4) 5	子どもの自死と社会	外部ゲストとして、日頃から若者に関わっているの方々をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	野澤和弘(特別講師) 向谷地 大原、荻原
6) 8	大人の発達障害/ 中間振り返り	外部ゲストとして、発達障害の当事者をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	広野ゆい(特別講師) 大原、荻原
9) 10	認知症	外部ゲストとして、認知症当事者や福祉ジャーナリストの方々をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	町永俊雄(特別講師) 丹野智文(特別講師) 大原、荻原
11) 12	ギャンブル依存症	外部ゲストとして、依存症経験者の方をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	田中紀子(特別講師) 大原、荻原
13) 15	癌を患うということ まとめ	外部ゲストとして、癌患者家族をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	鎌田守(特別講師) 大原、荻原

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

講義後に実施するリアクションペーパー(70%) 授業に参加する態度や姿勢、行動力(30%)

【教科書】

教科書は使用しない

【学修の準備】

福祉のイメージを考えておくこと。

【ディプロマ・ポリシーとの関連】

DP5,4

【実務経験】

大原裕介（社会福祉士） 向谷地生良（精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉法人ゆうゆうの理事長としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。